

令和8年度 第2回

八百津町料金改定検討委員会

資料① 前回のまとめ



令和8年7月8日(水)
八百津町水道環境課

第1回まとめ

【水道事業】

- 給水人口の減少による、**料金収入が減少傾向**
 - 近年の物価高騰による、**通常経費が増加傾向**
 - 工事による固定資産取得につき、**減価償却費が多額に計上**
 - 耐震化や水道施設及び配水管の老朽化のため更新工事を進める必要がある
- 赤字決算が続く見込み

【下水道事業】

- 公衆衛生と水質保全のため国や地方自治体が主体となって整備・普及した事業
- 使用料収入だけでは汚水処理費が賄いきれず、**一般会計からの繰入金により運営**が成立

一般会計からの繰入金 { 基準内繰入金 … 国により認められた繰入金
基準外繰入金 … 町独自で負担している繰入金

⇒ 八百津町は基準外繰入金（利用していない町民や他のサービスで得た税金）を投入

- 流域下水道維持管理負担金が令和9年度から年間10千円増加する見込み

第1回まとめ

《 審議の方向性 》

- 水道・下水道事業ともに現状のままの事業運営では厳しく、料金改定は致し方ない
- 改定率は、
(水道事業) 公営企業として独立採算を目指し、赤字決算の解消を図り**20%相当**
(下水道事業) 流域下水道事業維持管理負担金の増加分10百万円確保のため**10%相当**

《 委員からのご意見 》

- 浄水場を有していることが強みでもある
⇒ 当町の特徴でもあり、そのメリット・デメリットについて継続的に検討予定
- 急激な値上げは利用者に大きな負担になるため、段階的な改定はどうか
⇒ 第2回の説明で使用するシミュレーションにおいて対応予定
- 料金形態の見直しも検討してはどうか
⇒ 料金システムの見直しは多額の費用と長い期間が必要であり、最小限で対応したい
- 料金改定の必要性について、町民に対して分かり易い説明をお願いしたい
⇒ 現状の課題等について、7月広報において特集を組んで説明する予定